

味生まちづくり便り

編集：味生まちづくり協議会編集委員会
 場所：味生ふれあいセンター 3階
 住所：松山市別府町177-1
 Tel・Fax：904-2715
 Eメール：mibumachikyo@sgr.e-catv.ne.jp

✿ コロナ禍ではありますが、感染者が減少している期間中に多くの関係団体の協力を得て活動ができました。✿

ガンダムプラモデル組立体験

場所：味生公民館 3階 大会議室

日時：令和3年12月26日(日) 第1回 9:30~10:30 第2回 11:00~12:00

全国子ども連合会よりバンダイ社のガンダムプラモデル（ガンプラ）の組立体験の案内があり、組み立てた作品はプレゼントというラッキーな特典に魅かれての開催です。

体験会はコロナ感染症対策として密集を避けて2部制に分散して実施しました。小・中学生40名、保護者24名の参加人数で賑わいました。プラモデル作りが得意な上級生が遅れている初心者のお手伝いをしたり、ガンダム世代のお父さんたちは子供より熱心に組立てたりで、皆さん楽しんで完成させていました。

残ったプラモデルの枠は回収して、リサイクルによって新たな巨大ガンダムとして生まれ変わるそうです。

地域振興部



完成品：特別仕様「RX-78-2ガンダム」

絵手紙教室 ～年賀状を作ろう～

場所：味生公民館 3階 大会議室

日時：令和3年12月14日(火)
9:30~11:30

昨年に引き続き加藤千晶先生を講師に招き、少人数で募集し、13名で実施しました。世界に1枚しかないユニークな作品が数多く出来上がり、大盛況となりました。



福祉部

まごころウォークラリーの見守り活動 <令和3年11月9日(火)>

今年も味生小学校の地域を学習する活動の支援をしました。

教育文化部



途中で道に迷ってしまい困っていると、地域の方が優しく教えてくださいました。お礼のあいさつをすると、その方もまた笑顔で返してください、班のみんなも笑顔になりました。味生校区の秘密を知らながら、班の仲間と楽しく歩くことができよかったです。

味生小6年 川口 結愛

今年度も多くのまちづくり協議会の方々にご協力いただき、まごころウォークラリーを無事に開催することができました。子どもたちは、地域のよさを知り、地域の方の温かさに触れ、大満足して学校へ戻ってきました。いつも味生の子を守り育てていただき、ありがとうございます。

味生小 特別活動担当 米田 真由美



真情橋案内板周辺掃除と花壇の手入れ

<令和3年11月13日(土)>

7月の清掃活動に続き、津田中学校生徒会の皆さんとの今年度2回目の清掃活動です。

今回は、真情大橋にある花壇にビオラの花苗を植え付けました。

環境部・教育文化部



共催事業

味生地区社会福祉協議会主催
登録独居高齢者の方へ「福来るセット」配布
令和3年12月

今年は、味生地区まちづくり協議会も協賛した「福来るセット」を担当の民生委員さんが登録独居高齢者の方を訪問して笑顔を添えてお渡ししました。



共催事業



味生公民館主催
味生地区総合文化祭

コロナ禍の中、例年とは違った5日間の開催となりました。味生地区まちづくり協議会は、キッチンカー出店に協力しました。



キッチンカーの様子(11月3日・6日・7日)



令和4年
味生地区成人式

令和4年1月9日(日)味生地区成人式実行委員会により開催され、新成人約180名が参加しました。



町内の
ニュース

「小さな親切」運動 伝達式 令和3年10月26日

長年にわたり津田中学校周辺の清掃活動等をされている久保忠義さんに「小さな親切」運動愛媛県本部(事務局:伊予銀行)から、「小さな親切」実行章が贈られ、津田中学校にて伝達式が開催されました。



資料提供:「小さな親切」運動愛媛県本部(事務局:伊予銀行)



南斎院下仲屋町内防災訓練

＜令和3年11月7日（日）於南斎院公園等5カ所の一次避難場所＞

下仲屋町内会では、毎年秋に「被災時避難マニュアル」(町内全世帯に配布)に沿って、松山市西消防署の協力の下、防災訓練を行っています。コロナ禍のため、役員のみ31名参加の訓練となりました。訓練内容は、午前10時に南海トラフ巨大地震が発生したという想定で、6台のトランシーバーで被災状況等を報告する送信訓練、コロナ感染予防対策としての間仕切り設置訓練を行い、松山市西消防署の防災講話を傾聴しました。



済美平成自主防災連合協議会による避難所運営訓練

＜令和3年11月28日（日）於済美平成中等教育学校体育館内・外＞

今回の訓練は、コロナ禍のため、松山市西消防署の協力の下、役員等約100名の参加となりました。南斎院4町・空港通の合同訓練は2年毎に行っており、今回で3回目となります。また、令和元年12月に「南海トラフ巨大地震など災害時における協力に関する覚書」を締結している18企業の皆さんにも参加して頂いております。特に、(株)小笠原工業所さんには炊き出し用のガス器具(ガスを含む)、(株)明屋書店空港通店さんには絵本などの提供をして頂きました。

避難所設営訓練は、済美平成中等教育学校体育館内・外で衛生対策、避難者の受け入れ、間仕切りの設置、段ボールバットの組立、簡易トイレ・発電機および照明・炊き出し用ガス器具の設営等を行い、大いに成果がありました。こうした訓練を繰り返すことで被害を最小限に防げるものと確信しています。

済美平成自主防災連合協議会 会長 岡 宗鷹



山西町総合防災訓練

＜令和3年12月5日(日)於新田学園＞

今回の訓練は約1年かけて、組織作りおよび災害対応マニュアル「緊急事態対応手順書」を練り上げていきました。当日約200名の参加者を得て実施しました。

内容は、「起震車体験」「水防訓練(土嚢作成)」「防災機材の実用訓練」「救急対応訓練」を行い、充実した体験訓練となりました。参加者の評価カードからも成果が得られたことが確認できました。

また、新たな試みとして、各家庭に「安全確認サイン(黄色の目印の掲示)」を実施してみました。まだまだ、行き届いていませんでしたが、意識向上には一定の成果が感じられました。

起震車体験



土嚢づくり



防災機材実用訓練



安全確認サイン

